

RouteMagic

RouteMagic Controller

RMC-TS3200

リリースノート

- Version 1.1.2 -

はじめに

本書の目的

本書は、RouteMagic Controller RMC-TS3200 (以下 RMC と記述)上で稼動する RMC-TS ソフトウェア Version 1.1.2 に関して、以前のバージョンとの機能的な相違点、および RMC 設置・運用上の留意事項などを中心に記述しています。RMC-TS3200 の仕様ならびに操作方法全般に関しては、「RMC-TS3200 取扱説明書」「RMC-TS3200 ユーザーズ・ガイド」、および「RMC-TS3200 クイックリファレンス Version 1.1」をご参照ください。

本リリースの動作環境

RMC-TS ソフトウェア Version 1.1 は、RMC-TS3200 ハードウェア上で動作します。RMC-MP200、RMC-MP1200 などその他のハードウェアでは動作しません。

本書の対象読者

本書は、次の方を対象に記述されています。

- RMC のコマンドおよび操作性を理解されている方
- ネットワーク環境の設定に関して基礎的な知識のある方

関連ドキュメント

RMC には、本書の他に、次のドキュメントが用意されています。

■ RMC-TS3200 取扱説明書

RMC の設置とネットワーク機器への接続に必要な情報を記載した、製品添付の説明書です。

■ RMC-TS3200 クイックリファレンス

RMC が提供するコマンドの機能を記述したハンドブックです。

■ RMC-TS3200 ユーザーズ・ガイド

RMC をご利用いただくために必要な作業を中心に、RMC が提供する機能とその利用方法を説明しています。

目次

1.	ソフトウェア Version 1.0 からの変更点	1
1.1	NFS ポートログ機能の強化	1
1.2	connect コマンドの強化	1
1.3	不具合の修正	1
1.4	Version 1.1 における制限事項	2
2.	Version 1.1.2 へのアップグレード	3

1. ソフトウェア Version 1.0 からの変更点

RMC-TS ソフトウェア Version 1.1 では、従来の Version 1.0 に対して下記の変更が行われています。現在稼動している RMC のソフトウェアバージョンは、`show version` コマンドにより確認できます。

➔ 「2. Version 1.1.2 へのアップグレード」参照

1.1 NFS ポートログ機能の強化

NFS ポートログ機能を強化し、詳細なローテーション設定やタイムスタンプ出力等の機能が追加されました。以下のコマンドが新規追加・変更されています。(set nfs-portlog コマンドは Version 1.0 から仕様に変更されました。)

```
set [no] nfs-server {ip_address} {export_dir}
set [no] nfs-portlog-prefix {prefix}
set [no] nfs-portlog-rotation {count} {daily|weekly|monthly|size [log_size]}
set [no] nfs-portlog-timestamp
set [no] nfs-portlog
show nfs-status
```

各コマンドについての詳細は、「RMC-TS クイックリファレンス Version 1.1」をご参照ください。

1.2 connect コマンドの強化

connect コマンドの引数として、従来のポート名指定に加えて、set description コマンドで設定した任意の文字列も指定できるようになりました。

1.3 不具合の修正

【 Version 1.1.2 】

- set modem / set ppp-server を設定した状態で RMC-TS3200 を起動または再起動した場合、PPP 着信ができなくなる不具合を修正

【 注意 】

Version 1.1.2 にアップグレードする前に set ppp-server コマンドが設定されている状態の場合は、Version 1.1.2 にアップグレード後に以下の手順で set ppp-server コマンドを再設定してから write memory コマンドを実行する必要があります。

```
rmc@myrmc> enable
[rmc@myrmc]# set port comb
[rmc@myrmc(comb)]# set no ppp-server
[rmc@myrmc(comb)]# set ppp-server xx.xx.xx.xx yy.yy.yy.yy
[rmc@myrmc(comb)]# end
[rmc@myrmc]# write memory
```

【 Version 1.1.1 】

- set nfs-portlog コマンド実行して NFS ログ記録機能を有効にした後に RMC-TS3200 からログアウトした場合、再度 RMC-TS3200 に接続して connect コマンドを実行して操作を行ってもそのログが NFS サーバに保存されなくなる場合があった不具合を修正
(※Version 1.1.0 でも set nfs-portlog を設定した状態で write memory で設定を保存し RMC-TS3200 を再起動した後ではこの不具合は発生しません)
- copy startup-config tftp 及び copy running-config tftp コマンドでコンフィグが TFTP サーバに保存できない不具合を修正
- RMC-TS3200 起動時に SNMP トラップが送信されない不具合を修正

【 Version 1.1.0 】

- set stopbit 2 を実行してもストップビットが 2 にならない場合があった不具合を修正
- HTTP によるソフトウェアアップグレード (upgrade http) が正しく動作しなかった不具合を修正
(※この不具合の影響で、Version 1.0.0 から Version 1.1.0 へのアップグレードは、tftp でしか行えません。Version 1.1.0 以降からは HTTP によるアップグレードも可能です。)
- Windows Vista が稼働している PC から RMC-TS3200 に telnet/SSH 接続を行うと途中で通信が途切れてしまう不具合を修正

1.4 Version 1.1 における制限事項

RMC-TS ソフトウェア Version 1.1 では、以下のような機能的制限事項がありますのでご注意ください。

- USB-シリアルコンバータを使用して、RMC の COM ポートにログインしている場合、コンソールへの大量のテキストのペースト(貼り付け)が正常に動作しない場合があります。
- RMC の telnet コマンド実行時に、ログイン先で通常のログアウト処理をした場合でも、RMC 側でのコマンド終了ステータスは"error!"扱いになります。
- RADIUS 認証サーバ対応について
 - ・ 認証方法は PAP のみに対応しています。
 - ・ 特権パスワードおよび PPP サーバの認証は RADIUS 認証に対応していません。
 - ・ RADIUS サーバ上のパスワード変更には対応していません。
 - ・ アカウンティング記録には対応していません。

2. Version 1.1.2 へのアップグレード

RMC-TS ソフトウェア Version 1.1.2 は、RMC-TS3200 ハードウェア上で稼働します。

アップグレード作業は TFTP または HTTP プロトコルを使用して行います。(ただし、RMC-TS ソフトウェア Version 1.0.0 の不具合の影響で、Version 1.0.0 からは HTTP プロトコルでのアップグレードはできません。)

なお、RMC-TS ソフトウェア Version 1.1.2 アップグレード用ソフトウェアは、RMC-TS3200 に搭載されているソフトウェアが Version 1.0.0 以上であることを前提としています。

TFTP プロトコルでのアップグレード

- ダウンロードしたアップデートファイルを TFTP サーバに格納し、RMC 側から `upgrade tftp` コマンドを実行することにより、アップグレードを実行します
- RMC から接続可能な TFTP サーバを準備する必要があります。Windows の場合でも、フリーソフトの TFTP サーバを利用することができます

HTTP プロトコルでのアップグレード

- RMC 側から `upgrade http` コマンドを実行することにより、アップグレードを実行します

バージョンアップに必要なソフトウェアは、ホームページから直接ダウンロードできます。バージョンアップに必要な手順等を記述した「RMC アップグレード手順書」もホームページからダウンロード可能ですので、詳細はこちらをご参照ください。

ホームページ: <http://www.routrek.co.jp/support/>

※アップグレード作業におけるご注意

- アップグレード時には以前のバージョンの設定が引き継がれますが、アップグレードの前に `copy running-config terminal` で表示される設定を別途記録しておくことをお奨めします。

製品に関するサポートのご案内

製品に関するお問い合わせやテクニカルサポートについては、下記の弊社サポートページをご覧ください。

<http://www.routrek.co.jp/support/>

また、製品に関する最新情報やマニュアルも上記ページからダウンロードすることができますのでご参照ください。

Copyright©2008 株式会社 ルートレック・ネットワークス All rights reserved.
このマニュアルの著作権は、株式会社 ルートレック・ネットワークスが所有しています。
このマニュアルの一部または全部を無断で使用、あるいは複製することはできません。
このマニュアルの内容は、予告なく変更されることがあります。

商標について

ルートレック・ネットワークスのロゴおよび RouteMagic は、株式会社 ルートレック・ネットワークスの登録商標です。
本書に記載されている製品名等の固有名詞は、各社の商標または登録商標です。



株式会社ルートレック・ネットワークス
〒213-0002 神奈川県川崎市高津区二子5-1-1 高津パークプラザ7F
Tel. 044-829-4361 Fax. 044-829-4362